

UR借り上げ住宅入居者への説明会始まる

住み替え前提の説明に不安の声相次ぐ

阪神大震災で被災された方たちに対して、市がUR（都市再生機構）から市営住宅として借り上げた住宅の期限である20年が近づいています。青木町のシテイハウスで約三年後、ルゼフィール丸橋町では約五年後と迫る中、既に住民の方たちへの説明会が始まっており、私も二箇所に傍聴者として参加。市としては期限が来たらURに返還するので住み替えをお願いするという説明に、これまでの間にやっとの思いでコミュニティを築いてきたのに、また新たな場所での生活していくのは不安であるという声相次ぎました。この問題は西宮市だけでなく、兵庫県、神戸市、宝塚市も同じ問題を抱えており（宝塚市は借り上げ延長決定）、党議員団として、自治体がい取り、あるいは借り上げ延長することを求めつつ、そのことに国の支援を求めていく運動も強めていきます。

健康あれこれ 第6回 脳卒中

日本人の死亡原因の3位は脳卒中。牛乳には脂肪分が含まれているので敬遠されている方がありませんが、実は乳製品からカルシウムを多く摂取することでなにくくなるそうです。カルシウムはある程度摂ると血圧を下げ、糖尿病にも効果があるとされ、そのことによって動脈硬化や脳卒中発症率の低下につながるそうです。カルシウムを含む食品は他にもありますが、牛乳の吸収率はずば抜けているそうです。

食べ物豆知識 第70回 キャベツ

冬・春・夏などキャベツにはいくつも「旬」があるらしく、春キャベツは緑の色が濃く、ふんわりとして葉が柔らかいのでロールキャベツにもってこいです。発祥は古代ギリシャと言われていますが、季節を問わず昔から胃腸の調子を整える薬草として用いられ、現代ではキャベツに含まれるビタミンUが市販の胃腸薬の成分に。夏場ではほうれん草以上のビタミンCも摂れるそうです。

まつお正秀の「コラム」

民主党税制調査会長の藤井裕久氏が、テレビで「日本の国債はほとんどが国内保有だから外国に購入してもらっているギリシャのようにならないが、消費税率を引き上げないと、国債を持つているメガバンクが、それを売りに出すと言っている」との発言をした。裏を返せば消費税の増税は銀行の意向であるということを示している。レーニン著の帝国主義論では「資本主義の発展に伴い、当初は資金の融通や両替など『控えめな仲介者』であった銀行は、銀行自体も独占体となり、産業独占体と融合・癒着した金融資本となつて、経済だけでなく政治や社会の隅々まで支配する金融寡頭制を敷く」とある。銀行は国債の利息だけで年9兆円以上儲け、バブル崩壊時には公的資金で救済され、単年度で処理をする欠損金も数年間にわたって法人税から差し引いて納税できる仕組みで、三大メガバンクはほぼ法人税ゼロ。まさに銀行が牛耳る社会である。